

YAMANASHI

おせけん



■ 新年挨拶

■ 全老健新潟県大会の感想

■ 第12回 山梨県介護老人保健施設大会を終えて

■ 部会活動報告

■ 施設訪問記 白樺荘



新年挨拶

山梨県老人保健施設協議会

会長 ^ほ保 ^{さか}坂 ^{ひさし}久
(いちのみやケアセンター理事長)

新年明けましておめでとうございます。平成22年の新春を迎え、ご健勝で明るい新年をお迎えのことと存じます。昨年は新型インフルエンザの猛威の中に暮れた慌しい一年でしたが、今年こそは良い年でありますようにと願うのは私だけではないと思います。政権も変わりました。私たちの暮らしは一体どうなるのだろうと誰しも考えて一抹の不安を感じている人々は例年にも増して多いのではないのでしょうか。新しい政権が今年はどんな明るい未来を約束してくれるのでしょうか。高齢者介護に携わる私たちに何時も明るい灯がともされるのでしょうか。このところの経済の低迷、それに伴う賃金の低下等いわゆるデフレスパイラルなど、今はどれ一つとっても明るい展望は見出せません。しかし、昨年私たちは大合唱の中に現政権を選んだのです。現政権が昨年国民に約束したマニフェストは必ず明るい燭光を見出してくれると信じましょう。そして、その明るい燭光はまず懸命に高齢者を支える私たち介護する者たちに照らされなければなりません。新政権は良質な介護を可能にするマンパワーの充実、介護労働者の賃金の引き上げ、介護を必要とする人が安心して介護を受けられるように、高齢者の生活実態、要介護者のニーズがより反映されるような要介護者の認定基準の見直し、介護療養病床再編計画を中止し将来にわたる必要病床数の確保等を力強く打ち出しています。私たちはこの国民に対する約束をしっかりと見据え、一日も早くこの切なる願いが国民に届けられるよう願ってやみません。世界に広がる新型インフルエンザの暗雲とともに晴れ渡ることを願うや切なるものがあります。また新政権のこれからのお手並みを厳しく見守らなければなりません。新年にあたりこの初夢が夢で終わらないよう山老健の皆様とともにしっかりと見届けようではありませんか。本年もよろしく、頑張りましょう。

全国介護老人保健施設大会 新潟 に参加した感想



新潟で開催された老健大会の会場の様子

「トキめきに満ち溢れた

全国介護老人保健施設大会新潟」

ケアセンターいちかわ 介護福祉士 深沢 智一



平成 21 年 7 月 22 日から 24 日までの3日間にわたり、全国介護老人保健施設大会が新潟・朱鷺メッセにて開催されました。

大会開催、通算 20 回目となる今大会は、「老健が創る新文明～トキめく長寿社会をめざして～」と題し、全国各地の施設より認知症や在宅支援、リハビリやレクリエーションなど数々のテーマで合計 1,000 を超える演題が発表されました。さすが、どの演題も全国各地より選び抜かれた発表ばかりとあって、非常に興味深い内容のものを多数聞くことができ、ケアに対する見識を深めることができました。

多忙な業務の中、今大会に私を送り出してくれた施設の上司、スタッフに感謝するとともに、今回得ることのできた知識を日々の業務に役立てられるように、私も今後とも努力していきたいと思えます。

全国介護老人保健施設大会新潟に参加して

介護老人保健施設ノイエス 管理栄養士 布施 京子

初めて大会に参加しました。自分の職種以外の発表もたくさん聞くことができ、とても勉強になりました。その中で感じたことは、どの職種においても、利用者さんが何を望んでいるか? どうしたらその人の為にとって 1 番良いのか? を常に考え、対応する大切さです。特にターミナルケアにおいては、個別対応がとても重要であり、他職種との連携が欠かせないことを学びました。今回学んだことを今後の業務に活かしていこうと思えます。



表 彰



平成 21 年 7 月 23 日、全国老人保健施設大会新潟大会においてあさひホーム、山本恭雄理事長が、老人福祉における永年の功績により、全国老人保健施設協会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

ワンポイント・インフルエンザ

- 免疫力の低下は感染しやすい状態を作るため、偏らない十分な栄養や睡眠休息を十分とることが大事である。これは風邪やほかのウイルス感染に関しても非常に効果が高い。石鹸による手洗いの励行や、手で目や口を触らないこと、
- 手袋やマスクの着用といった物理的な方法でウイルスへの接触や体内への進入を減らす。
- 感染の可能性が考えられる場所に長時間いることを避ける必要がある。人ごみや感染者のいる場所を避けるなど。
- 予防にマスクを用いた場合は速やかに処分する。
- 換気をこまめに行う。空気清浄機などでも良い。
- 部屋の湿度 (50 ~ 60 パーセント) を保つ。これにより、ウイルスを追い出し飛沫感染の確率を大幅に減らすことが可能である。
- 予防効果としてのうがいも有効である。

第12回 山梨県介護老人保健施設大会を終えて

山梨県老人保健施設協議会理事

研修委員長 興石 詔三



今大会は、新型インフルエンザの影響により中止等も検討されましたが、無事11月25日アピオ甲府において開催することができました。保坂久会長の主催者挨拶に始まり、ご来賓の山梨県福祉保健部部长 小沼省二様より、日々のケアに対し労いの言葉をいただきました。

講演では、山梨県出身で現慶応義塾大学名誉教授、八王子市にある永生会永生病院名誉院長である千野直一先生より、「在宅医療と連携パス～医療改革理念と東京南多摩医療圏の状況～」をテーマにわれわれの老健には欠かせない医療との連携をご自身の体験談を交え、解説していただきました。

午後からは23施設より25の演題発表がありました。日頃の忙しい業務の中、非常に良くまとめられた発表が多く、パワーポイントの工夫など年々レベルが上がってきているように感じました。

会場Aセッション1では、ノイエスの「傾聴ボランティアの取り組みを通して」がボランティアを上手に活用した取り組み、会場Aセッション2では、NAC湯村の「私たちの仕事に誇りを持とう」が仕事に対するモチベーションの維持、会場Bセッション1では、フルールむかわの「口腔機能の維持



管理」が全国大会でも発表が増えてきている口腔ケアの管理、会場Bセッション2では、甲府かわせみ苑の「おやつにもソフト食を・・・」が利用者様に食べて欲しいという気持ちを形に代えたことがそれぞれ評価され、優秀演題賞を受賞したのではないかと感じました。

発表者も様々な職種がおり、施設の中だけでなく、この大会自体も多職種協働の一環であると大いに感じました。

会場 A セクション 1

座長 勝沼ナーシングセンター 支援相談員 西矢 智一

- ▶ 男・女の心理・価値観の違い
～記憶保持と心のケアについて～
ふじ苑 介護支援専門員 広瀬 修
- 傾聴ボランティアの取り組みを通して
ノイエス 介護職 秋山 輝久
- ▶ 月1回のスウィートホーム
～お茶処のその後～
ケアセンターいちかわ 介護福祉士 東條 洋平
- ▶ 「老健」での看取りを始めて
～最後は、住み慣れたここがいいよ～
サンビューかじかざわ 看護師 樋口 美和
- ▶ その人らしく生きる為に
～認知症、うつ病をもつ利用者のケアを考える～
山梨ライフケアホーム 介護福祉士 清水 貴人
- ▶ よりよい職場環境を考える
～仕事に対する意識調査から～
峡北シルバーケアホーム 介護職 中込 知美

会場 B セクション 1

座長 みのりの里旭ヶ丘 看護師 清水 喜代子

- ▶ 足関節を鍛えましょう！
体操～歩行訓練の2年間の取り組みから
いちのみやケアセンター 作業療法士 河野 順一
- ▶ 事故防止を目指して
～安全管理を再考する～
つる 介護福祉士 中野 由貴
- ▶ 101歳 美味しいね もっと食べたいよ
～経口摂取への移行を検討した一事例～
玉穂ケアセンター 看護師 石川 快枝
- 口腔機能の維持管理
～今更ながら口腔ケア～
フルリール むかわ 歯科衛生士 増田 裕美
- ▶ 地域でその人らしい暮らしの継続を支えたい
～地域支援事業の経験から～
NAC湯村 作業療法士 駒谷 陽絵
- ▶ 口腔ケアについて
～みんなで取り組める口腔ケアを目指して～
あさひホーム 介護職員 山本 真佐美
- ▶ 居酒屋で送別会
～「飲みにいきてえなあ」～
はまなす 介護福祉士 小林 昌弘

会場 A セクション 2

座長 山梨ライフケアホーム 介護福祉士 清水 勝彦

- ▶ いいとみ排泄改革 2009
～排泄個別ケア導入による実績と新たな課題～
峡南ケアホームいいとみ 介護福祉士 中込 雅義
- ▶ ひきこもりから生き生きと
～土づくりから・・・～
白樺荘 介護 渡辺 一史
- ▶ 施設職員教育への取り組み
～お互いの仕事を理解し協働して行こう～
峡西老人保健センター 看護師 有野 たみ子
- ▶ うたえないけど・・・私なりに
～この瞬間を大切に～
ももくら 介護福祉士 白川 令奈
- ▶ 帰宅願望者への対応
～利用者の声を聞いて～
はまなす 介護員 和田 裕二
- 私たちの仕事に誇りを持とう
～活動を通じた「幸せ」「やりがい」の追求～
NAC湯村 介護支援専門員 堀内 貴弘

会場 B セクション 2

座長 フルリールむかわ 介護支援専門員 増田 裕美

- ▶ お食事を召し上げれ！！
～食事を拒否した方への働きかけ～
しおかわ福寿の里 管理栄養士 田村 礼江
- ▶ リスクを無くした入浴を目指して！
～安全を手に入れる～
甲府相川ケアセンター 介護福祉士 斉藤 美保
- おやつにもソフト食を・・・
甲府かわせみ苑 栄養士 狩股 千春
- ▶ 劇的？水虫ビフォーアフター
～どうなる？緑茶足浴～
ケアホーム花菱 介護職 田中 理
- ▶ 機械浴から個浴へ
～ささやかな幸福を求めて～
山中湖あんずの森 看護師 渡邊 宏美・高村 さつき
- ▶ 目指せ！自然排便！
～『あ～あすっきりしたよう！』～
ナーシングプラザ三珠 介護福祉士 岩下 彩子

部 会 活 動 報 告

リハビリテーション部会

第1回 リハビリテーション部会の開催

日 時：平成21年6月25日(木) 13:30～16:30

場 所：リバース和戸 第3研修室

活動内容：・平成21年度事業計画・予算案について
・平成21年度山梨県老人保健施設協議会
総会報告
・勉強会「介護報酬改定について」
講師 NAC湯村 事務次長 輿石 涼様
・情報・意見交換

第1回部会では今年度から改定になった介護報酬についての講義の後、リハビリ加算の具体的算定の仕方とその解釈について、質疑応答・意見交換が活発に行われました。

次回部会は平成22年2月に開催予定です。リハビリ業務に役立つ有意義な会にしていきたいと思えます。

部会長 深沢 千恵美

通所リハビリ部会

第1回 通所リハビリ部会の開催

日 時：平成21年7月29日(水) 14:00～16:00

場 所：リバース和戸 第3研修室

活動内容：平成21年度役員紹介
平成21年度事業計画について
平成21年度予算について
平成21年度山梨県老人保健施設協議会総
会報告
勉強会「介護保険改正Q&A」
講師 理学療法士 長田 悟先生
その他 意見交換

出 席：24施設 30名

介護保険改正について各施設でも勉強会を設けているようでしたが通所リハビリ部会でも理解を深めたいと峡北シルバーケアホーム勤務の理学療法士 長田悟先生にお願いして「介護保険改正Q&A」の勉強会をいたしま

した。又第2回通所リハビリ部会を10月22日に「認知症と回想法」講義を予定していましたが、新型インフルエンザの感染拡大予防のため中止とさせていただきます。改めて機会を設けられたらと思っています。



部会長 清水 喜代子

事務長部会

第1回 事務長部会の開催

日 時：平成21年7月16日(木) 14:30～16:00

場 所：笛吹市スコレーセンター

出 席：26施設 29名

活動内容：アンケート結果報告
平成21年度介護報酬改定加算取得状況 など

第2回 事務長部会の開催

日 時：平成21年8月28日(金) 16:30～17:30

場 所：古名屋ホテル

出 席：22施設 24名

活動内容：介護職員処遇改善交付金について
今後、実地指導の結果報告を行う予定となっております。

部会長 網倉 健也

介護支援専門員部会

第1回 介護支援専門員部会の開催

日 時：平成21年6月17日(水) 14:00～

場 所：山梨県立青少年センター 別館 多目的ホール

出 席：28施設 31名

活動内容：平成20年度 介護支援専門員部会事業報告・
会計報告
平成21年度 介護支援専門員部会事業計
画・予算案について

講義 「楽しくレクリエーションを行うには」

講師 西嶋福祉レク研究舎 望月栄司氏

講義での「やってみることに意味がある。」「行動変容を促す。」「ケアマネにも通ずるものを感じられ、実技での「笑う」ことは心が明るく、楽しませることで、日常、大切なことと再認識させて頂きました。

第2回 介護支援専門員部会の開催

日 時：平成21年10月21日(水)14:00～

場 所：山梨県立青少年センター

出 席：28施設 33名

活動内容：「ターミナルケア加算の取り組み」について
グループ別意見交換・全体発表

各施設と意見交換しながら、自施設でのターミナルケアの参考になったと思います。引き続き、部会に多くの方の参加とご協力をお願い致します。

部会長 増田 裕美

部 会 活 動 報 告

看護部会

第1回 看護部会の開催

日 時：平成21年6月24日(水) 14:00～16:30
場 所：リバース和戸 第3研修室
活動内容：平成20年度 看護部会 活動報告・会計報告
平成21年度 定期総会報告 看護部会事業計画
日常業務に関する意見・情報交換

出 席：23施設 27名

老健における医療や薬剤、コストの負担、認知症の重度化や進む高齢化、介護報酬改正を受けてさらに質の高い介護の提供など、業務の係る課題はなかなか解決に繋がらず山積している。誠意と工夫では恒常的なマンパワー不足は補い切れず、頭の痛い毎日。

こうして年に数回、各老健施設の現状や対応を話し合える機会があることで、ふと折れそうになる心が支えられ、見えぬ力が湧いてくるように感じています。

部会長 葉袋 利子

介護部会

第1回 介護部会の開催

日 時：平成21年9月10日(木)14:00～16:30
場 所：リバース和戸
活動内容：平成20年度介護部会 活動報告、会計報告
平成21年度介護部会 活動計画、会計案
日常業務に関する意見交換
老健大会 座長選任

出 席：28施設 30名

第1回 看護・介護部会の開催

日 時：平成21年9月16日(水)14:00～16:30
場 所：地場産業センター「甲斐てらす」大ホール
活動内容：講演「インフルエンザについて」

～病体とその対処法～

講師 田中治幸先生(しもべ病院副院長、
ケアセンターいちかわ施設医)

出 席：30施設 67名

新型インフルエンザと季節性インフルエンザについて、わかりやすく講演いただきました。既に流行し始めている声もあり、各施設とも真剣にメモをとる姿もみられました。きっと施設へ戻り、実践されている事と思います。

各施設対応が大変だとは思いますが、今日の講演を参考にして日々の業務を頑張りましょう。

部会長 高野 享子

栄養士部会

第1回 栄養士部会の開催

日 時：平成21年6月18日(木) 14:00～17:30
場 所：ピュア総合 調理室 2階
活動内容：

1. 実演講習会

「ニーズに合わせたソフト食作りについて」

講師：旭松食品担当者 様

- 平成20年度 栄養士部会事業報告・会計報告
- 平成21年度 栄養士部会事業計画・会計予算案
- 情報交換

施設の入所者のQOL向上のため、食事を個別に対応していく中で、刻み食からソフト食へ取り組んでいる施設も増えています。今回は、そのソフト食の意外な調理方法や調理済み冷凍食品を利用した色々な料理を実際に調理試食する事が出来ました。見た目は“常食の焼肉”、食べると“ソフト食”というものもあり、今後入所者の方に満足して頂けるソフト食作りの参考となりました。

第2回 栄養士部会の開催

日 時：平成21年9月18日(金) 14:00～17:30
場 所：青少年センター リバース和戸
活動内容：

1. 講習会「肝臓病と栄養」

講師：株式会社クリニコ 千葉典子様

2. 栄養改善についての勉強会

3. 情報交換

講習会では、基礎知識を深める内容のものとなりました。栄養改善の勉強では、まだまだ在宅の高齢者への栄養改善での介入を行っている施設は少数でしたが、とても参考になり少しでも多くの施設で介入していけたらと思います。

部会長 渡辺 紀子

支援相談員部会

第2回 支援相談員部会

日 時：平成21年8月18日(火) 14:00～
場 所：石和スコレーセンター 2階 資料展示室
出 席：28施設 31名

活動内容：講師 日本臨床心理協会 中嶋 彩 先生
講演内容：『相談援助技術の理解について』

第2回支援相談員では、日本臨床心理協会の中嶋先生より『相談援助技術の理解について』をテーマに講演していただきました。講演では、対人援助における相談面接の目的(援助関係の形成・情報収集・問題解決)をわかりやすく教えていただき、すぐに役立つ情報・対応方法を聞くことができ、有意義な時間になりました。

部会長 西矢 智一

施設訪問記

白樺荘

(訪問者 山中湖あんずの森)



12月の初冬のある晴れた日、白樺荘を訪問させていただきました。富士山のふもと富士吉田市に位置し、雄大な富士山を背景に、豊かな緑と澄んだ空気に囲まれた赤松林の中で静かな環境の中にありました。今回はお忙しい中、施設の特徴や、目標、そして取組について、施設長さん事務長さんからお話を伺いました。

施設の特徴

富士北麓地域で初めての介護老人保健施設として、平成8年4月に開設されました。施設名の由来は、富士吉田市のイメージ樹木である白樺の木やフジザクラをイメージして名づけた白樺荘は富士山麓の閑静なたたずまいと、富士の湧水や、移り行く四季折々の美しさが味わえる自然環境のなかにあり、『いつも笑顔で真心こめて』をモットーに利用者の皆様との信頼関係を大切に、家庭での生活と同じ目線に立って、個人それぞれに合った介護、利用者様の在宅復帰を目指し、家庭的な雰囲気の中で、医師、リハビリテーション専門職、看護師、介護職などが一体となり、チームケアを提供されておりました。

多彩な行事やレクリエーション

利用者様には、家庭におられる時の生活に、より近く、潤いのある日々を過ごしていただけるように、レクリエーションを特に心掛けておられました。また、日常のレクのほかに、月一回の誕生会、さらに毎月、メインとなる行事をされており、各種ボランティア団体のご協力の中での、バスハイク、七夕祭り、夏祭り、運動会、文化祭、餅つき会など、利用者様が大きな期待をもたれており、特に餅つき会は相撲部屋の力士のご協力により、力いっぱい餅つき交流をし、お腹いっぱいにお餅を食べ、特に大人気の行事です。夏祭りは、職員、ボランティア、利用者様全員が主役のイベントで毎年盛大に開催されています。

老健の将来の展望

介護保険制度も10年を迎え、平成24年には大幅な制度の見直しが行われると予想されています。

施設における医療・介護ニーズの高まりの中で、認知症ケアや終末期の問題など高齢者医療の分野のあり方がクローズアップされ、その確立が急がれています。「ご利用者・ご家族の代弁者として施設は地域の関係機関とスムーズな連携が取れるよう努力し、リハビリの充実と質の高いサービスの提供を目指していきたい。」と施設長も話されていました。

取材を終えて施設を後にするときに、談話室でご家族と楽しそうにお話をさせているご利用者の素敵な笑顔と、職員さんたちの笑顔を拝見し、職員さんの家族的で温かく、熱心な取り組みがご利用者の安心感に満ちた笑顔につながっている、と実感した一日でした。

シリーズ さくひん



『七福神』(白樺荘)

この作品は、通所リハビリの利用者さんが作ったものです。毛糸を切って貼り付けてあります。

施設の概要

- ◆入所定員 100名
- ◆通所定員 15人
- ◆協力病院 富士吉田市立病院
- ◆協力歯科 中澤歯科
- ◆所在地 〒403-0006 山梨県富士吉田市新屋1552-3
- ◆電話番号 TEL 0555-24-4211 FAX 0555-24-4212
- ◆設置運営主体 社会福祉法人 幸樹会

編集後記

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年は、新型インフルエンザの影響により、老健協主催のソフトバレーボール大会、ソフトボール大会が開催できず、皆さんも寂しい思いをされたことと思います。そんな中、県の老健大会が皆さんのご協力のもとで無事に開催することができました。

各施設の発表はどれもすばらしいもので、やはり、県内の老健が、様々な情報共有情報交換の機会を持ちながら切磋琢磨し合い、より質の高いサービス提供につながるよう協力していくことが大切だと実感しました。

今年も広報委員会として、会員皆さんの活動の担い手となるよう広報活動に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

広報委員長 米波達男
(ナーシングブラザ三珠)

山梨県老人保健施設協議会 広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会

広報委員会

事務局 〒405-0076

山梨県笛吹市一宮町竹原田1255-1

いちのみやケアセンター内

TEL.0553-47-4811

FAX.0553-47-4815

ホームページ:

<http://www.y-rouken.jp>

Eメール:rouken@tiara.ocn.ne.jp

印刷 株式会社 少国民社